

県産米の振興と人権に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
人権課	2016年10月17日から 2016年11月02日まで	1362	880	64%

今回は、農産園芸課、人権課からのアンケートのお願いです。

はじめに、農産園芸課からお聞きします。

県では、県の重要な農産物であるお米の生産振興、消費拡大に関する事業を進めています。

そこで、県民の皆さんの県産米に対する愛着度や求められるニーズについて、調査し、今後の県産米の振興につなげていきたいと考えています。

皆さんに、はじめてアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

つぎに、人権課からお聞きします。

県では、差別のない、人権が尊重される、明るく住みよい社会の実現をめざし、人権啓発・教育等に取り組んでいます。特に、毎年11月11日から12月10日までの1か月間を「差別をなくす強調月間」と定め、啓発イベントの開催や街頭啓発に取り組んでいます。

毎年、強調月間にあわせて、皆さんの人権に関する意識や実態を把握するためのアンケートを実施しています。

今回もご協力をお願いします。

「差別をなくす強調月間」中の主なイベント情報等

<http://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/>

■ Q1 お米を消費する世帯の人数について

あなたの世帯の人数は何人ですか。

合計	880	
1人	49	5.6%
2人	231	26.2%
3人	241	27.4%
4人	226	25.7%
5人	85	9.7%
6人以上	48	5.5%

■ Q2 お米の消費量について

あなたの世帯では、1か月間にどのくらいのお米を食べますか。

合計	880	
0kg～5kg未満	190	21.6%
5kg～10kg未満	315	35.8%
10kg～15kg未満	182	20.7%
15kg～20kg未満	102	11.6%
20kg～25kg未満	49	5.6%

25kg以上	42	4.8%
--------	----	------

■ Q3 お米の入手方法について

あなたの世帯では、主にどのような方法でお米を購入（入手）していますか。あてはまるものを一つ選んでください。

合計	880	
スーパーや米屋さんで購入	322	36.6%
ネット・通販等で購入	35	4.0%
農家から直接購入	196	22.3%
知り合い（親族を含む）からもらう	203	23.1%
自分で生産している	86	9.8%
その他	38	4.3%

■ Q4 お米の産地について

あなたの世帯で購入（入手）するお米は三重県産米ですか。
※だいたい：7割～9割、ほぼ半々：4割～6割、たまに：1割～3割

合計	880	
常に三重県産米である	490	55.7%
だいたい三重県産米である	182	20.7%
三重県産米と他県産米がほぼ半々である	65	7.4%
たまに三重県産米である	75	8.5%
常に他県産米である	68	7.7%

■ Q5 お米の選び方について

あなたの世帯で、お米を購入（入手）する際に基準にしているものは何ですか。あてはまるものを一つ選んでください。

合計	880	
価格	169	19.2%
品種名や商品名	182	20.7%
産地（生産者）	261	29.7%
安全性	151	17.2%
無洗米	15	1.7%
鮮度（精米日）	22	2.5%
パッケージ	0	0.0%
その他	80	9.1%

■ Q6 三重県産のブランド米について

平成24年に三重県で開発されたブランド米「結びの神」をご存じですか。

合計	880	
知っている	160	18.2%
知らない	720	81.8%

■ Q8 人権尊重社会について 1

ここからは、人権に関することについてお聞きします。

三重県では、「性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力を発揮できる機会が誰にでも与えられる社会」の実現をめざしています。

あなたは、「あなたの人権が尊重されている」と感じますか。

合計	880	
感じる	102	11.6%
どちらかといえば感じる	323	36.7%
どちらともいえない	268	30.5%
どちらかといえば感じない	57	6.5%
感じない	38	4.3%
わからない	92	10.5%

■ Q9 人権尊重社会について 2

あなたは、「三重県は人権が尊重されている社会になっている」と感じますか。

合計	880	
感じる	24	2.7%
どちらかといえば感じる	238	27.0%
どちらともいえない	322	36.6%
どちらかといえば感じない	82	9.3%
感じない	53	6.0%
わからない	161	18.3%

■ Q11 人権課題への関心について

あなたはどのような人権課題に関心を持っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※ 選択肢の『性的マイノリティ（LGBTなど）』とは、性的指向にかかる同性愛者や両性愛者の人や、生物学的な性（からだの性）と性の自己認識（こころの性）が一致しない人などをさす言葉です。

合計	880	
同和問題	271	30.8%

子ども	302	34.3%
女性	302	34.3%
障がい者	490	55.7%
高齢者	274	31.1%
外国人	222	25.2%
患者等（HIV感染者・エイズ患者、ハンセン病元患者、難病患者等）	149	16.9%
犯罪被害者等	170	19.3%
インターネットによる人権侵害	319	36.2%
アイヌの人びと	48	5.5%
刑を終えた人・保護観察中の人等	86	9.8%
災害時における人権問題	118	13.4%
性的マイノリティ（LGBTなど）	187	21.2%
貧困等にかかる人権問題	233	26.5%
ホームレス	94	10.7%
自殺、自死遺族	120	13.6%
ひきこもり	150	17.0%
非正規雇用労働者	215	24.4%
北朝鮮当局による拉致問題	152	17.3%
その他	21	2.4%

■ Q12 人権学習の機会について 1

あなたは、最近1年間で、啓発イベント等に参加して人権に関して学んだり、知識を得たりした機会がありましたか（国・市町、NPO団体等の活動も含みます）。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	880	
人権に関するイベントやコンサート等への参加	66	7.5%
人権に関する講演会・学習会への参加	119	13.5%
人権メッセージ・ポスター等への応募	13	1.5%
人権ライブラリー（図書・ビデオ）等の利用	18	2.0%
パネル展示などの観覧	34	3.9%
新聞、雑誌、インターネット等による人権に関する情報の視聴・収集	181	20.6%
地域やボランティア団体等の活動への参加	48	5.5%
特になかった	555	63.1%

その他	11	1.2%
-----	----	------

■ Q13 人権学習の機会について 2

Q12で「特になかった」とご回答いただいた方にお伺いします。なかった理由を一つ選んでください。

合計	555	
イベントや講演会の開催、ポスターの募集などについて知らなかった	196	35.3%
時間や場所の問題で参加できなかった	87	15.7%
対象者が限定されており、参加や応募ができなかった	4	0.7%
関心がない	185	33.3%
人権については十分に理解しているので参加しなかった	36	6.5%
その他	47	8.5%

■ Q14 人権啓発について

あなたは、最近1年間で、人権に関する啓発等について見たり、聞いたりしたことがありましたか（職場や学校での参加を含みます）。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	880	
駅・ショッピングセンター等での街頭啓発	122	13.9%
人権啓発ポスター・チラシ等の掲示物	344	39.1%
国・県・市町の広報紙による広報	315	35.8%
テレビ・ラジオのスポットCM	206	23.4%
啓発冊子・リーフレット	75	8.5%
人権フォトコンテスト・ポスター等の応募作品の展示物	63	7.2%
スポーツの試合と連携した啓発	35	4.0%
鉄道・バス車内の吊り広告	63	7.2%
特になかった	285	32.4%
その他	25	2.8%

■ Q15 人権侵害について

あなた、またはあなたの家族や友人・知人が、最近1年間で、いじめや虐待、セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント、ドメスティック・バイオレンス（DV）、差別待遇等の人権侵害を受けた（受けたと感じた）ことがありましたか。

合計	880	
あった	181	20.6%

なかった	699	79.4%
------	-----	-------

■ Q16 人権相談について 1

Q15で「あった」と答えた方は、そのとき、どこへ（誰に）相談しましたか。「なかった」と答えた方は、もし、あなたが、何らかの人権侵害を受けた場合、どこへ（誰に）相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	880	
家族や友人、職場の同僚等	460	52.3%
職場の上司、学校の先生、自治会長等	112	12.7%
市町の相談窓口等	263	29.9%
県の相談窓口等	91	10.3%
地方法務局の相談窓口	49	5.6%
人権擁護委員	46	5.2%
民生委員・児童委員	42	4.8%
警察	129	14.7%
弁護士	86	9.8%
誰にも相談しなかった（しない）	140	15.9%
その他	70	8.0%

■ Q17 人権相談について 2

Q16で「誰にも相談しなかった（しない）」とご回答いただいた方にお伺いします。誰にも相談しなかった（しない）理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	140	
我慢できる程度の事柄だった	37	26.4%
今までの人間関係をこわしたくなかった	28	20.0%
抗議したり対抗処置ができるような相手ではなかった	21	15.0%
人に言えるような事柄ではなかった	14	10.0%
相談したかったが、誰に（どこに）相談してよいかわからなかった	28	20.0%
相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った	19	13.6%
過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、役に立たなかった	24	17.1%
その他	29	20.7%

■ Q18 人権尊重社会への取組について

あなたは人権が尊重される社会の実現のために、どのような取組が特に重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	880	
住民やNPO団体等が、人権が尊重されるまちづくりに取り組むこと	275	31.2%
企業、事業所が人権研修を実施したり、社会的責任として人権問題に関する取り組みを支援していくこと	353	40.1%
行政が人権尊重の視点に立った取組を進めていくこと	278	31.6%
行政が人権啓発活動を進めていくこと	212	24.1%
学校や地域で、人権教育を充実していくこと	536	60.9%
人権との関わりの深い職業に従事している人の人権意識を高めていくこと	154	17.5%
人権問題に関する相談体制を充実させていくこと	279	31.7%
人権侵害を受けた人に対する救済策を充実すること	279	31.7%
特にない	20	2.3%
わからない	65	7.4%
その他	36	4.1%